

齊藤 高広 先生

先生のプロフィール

【出身地】

東京都

【専攻】

経済法

【近年(2~3年)の担当科目】

経済法 A・B

【コロナ後に行きたい場所(国内でも外国でも)】

試験・レポートの採点がない世界



学生：それではインタビューを始めさせていただきたいと思います。早速一つ目の質問です。先生の研究内容・魅力はなんですか？

齊藤先生：民法とか商法で出てくる事件でちょっと抽象的過ぎてわかんないことが多いと思うんだけど、経済法の場合は知ってる企業名だとかと結びついていて、そこがリアルに法律と結びついているところが魅力的な科目で、学生時代そこに面白さを感じました。

同じ法律の授業でも刑法よりもさらにストレートに、いかにも法律が経済活動に影響力を及ぼしているというところが魅力だと思います。

学生：次に、先生が講義時に心掛けていることは何ですか？

齊藤先生：多分普通の大学生やってるとわかりづらい経験してない社会の現象とか状況に強く関わる科目なのでそこがバイトだとか実家が事業活動を行っている人以外にもなるべくわかりやすく伝えるような工夫をしてるつもりです。現実社会とどう結びつけるかというところですね。

学生：次に、専門科目に興味を持った理由は何ですか？

齊藤先生：ほかの六法も勉強していて魅力を感じていたけども、国内外の経済活動と法律が果たす役割や機能が強く結びついていることが直感的に把握しやすい科目だし、それを理論的に把握することに面白さを感じたからです。

学生：次に、先生のゼミ生についてどう思っていますか？（特徴）

齊藤先生：ブラボー！！(笑)（個性豊かで学ぶことが好きな学生が多いです）

学生：ありがとうございます（笑）次に、先生はどのようなゼミにしていきたいですか？

齊藤先生：基本方針は知的ぜい肉をつけようということです。それが役に立つかどうかは皆さん次第ですが、行間を読むとか今役に立たないかもしれない知識をつけるようなゼミにしたいです。

学生：次に、先生が学生時代に失敗したことは何ですか？

齊藤先生：失敗がありすぎて答えがないですね。

失敗が多すぎたから稀なチャンスをものにできたんだとおもいます。

失敗の数が多いほど成功する数も増えると思います。人生ほとんど失敗ですかね(笑)

学生：深いですね（笑）では最後の質問です。どんな学生に来てほしいですか？

齊藤先生：大学生当時、「何事も全力で」という言葉に強く惹かれたことがありました。

が、後日、無駄・浪費で意味がなかった、自分はできないことが多すぎる、

と悔んだりするだけで、<この言葉に騙された>と強く思ったことがあります。

ただ、「できそうなこと」「お金をもらってもやりたくないこと」を見極めることもできて、

「自分は本気を出せば、何でもできる」と誤った自己分析や過信がなくなったのも事実です。

なので、「何事も全力で」立ち向かえそうな人に来て欲しい、ということにしておきます。

★ アドバンスト 齊藤 ゼミの実態！（2022年度ゼミ生9名）

★ 齊藤 先生のトリセツ

知識量が豊富でいろんなことを知ってる！

かみ砕いて話してくださり、解説が丁寧なので分かりやすい！

発表の内容で足りなかったところは丁寧に指摘して下さいますし、良かったところは褒めて下さいます！

【日々の準備、課題】

・自分の報告準備

（企業のどんな行動が市場や消費者に影響を与えるのか、また、企業の意図やメカニズムについて、公正な経済社会を維持するための経済法の事例を用いて研究します。）

【長期休暇課題】

・業界・市場調査（独禁法の事例も）

A4 4枚程度

【ゼミのタイムスケジュール】

・最近のニュース（雑談）

[10~15分]

・担当者の報告

質問タイム

グループディスカッション

先生の雑談